

先ほどの松原先生のお話に追加で少しお話をします。昨年も見てもらいましたが、この絵が一番わかりやすいので、見てください。

左の絵が平等になります。みんなが同じように台が1つ置いてあります。一番右の小さい子は野球の試合を見ることができません。

「平等」とは「みな等しいこと」という意味の言葉です。「食べ物が平等に行き渡るようにする」「お金を平等に分ける」などです。

給食でたくさん食べる先生は誰でしょうか？例えば、野尻先生とあまり食べない子の給食の配膳を考えてみてください。同じ量を配膳するのが平等になります。

次に、右の絵を見てください。こちらが「公平」を表しています。台の個数が違うので、全員が野球の試合を見ることができています。先ほどの給食の話では、野尻先生にたくさん、あまり食べない子に少し配膳することです。「公平」とは、「すべてのものを同じように扱うこと」という意味の言葉です。「そのやり方では公平性が保てない」「公平にするために、ルールを見直すべきだ」のように使われます。

身長の高い人や低い人がいるので、先ほどの絵のようにたくさん台が必要な人もいれば、背が高いのでいらない人もいます。

先ほど、松原先生からお話がありました。みんなのクラスにはな

かよし学級に在籍する人がいます。なかよし学級の人は、手助けが他の人よりも多く必要な人たちです。先ほどの絵でいえば、たくさん台が必要な人たちです。そして、先生からだけではなく、まわりにいるあなたたちからの手助けが一番必要です。

できないからといって、からかったり、いじめたりすることはもつてのほかです。そのようなことがあれば、先生たちは絶対に許しません。今のクラスもあと 1 か月で終わりです。楽しいクラスだったと思えるように、一人ひとりのことを大切にできるよう、そしてみんなのことを公平な目で見られるよう、よろしくお願ひします。